

# 第29回アカデミアセミナー in 高知大学

## 中山間地域研究交流会

### 「中山間地域問題への総合的アプローチを探る」第1回ワークショップ

総合科学系 地域協働教育学部門 上田 健作

中山間地域問題の解決をめざして、多くの方々が大豊町をはじめとする国道「439」号線沿いの地域をフィールドに教育研究活動を展開するようになりました。地域協働教育学部門においても大豊町怒田をはじめ、仁淀川町長者地域、いの町（旧吾北村）中央地区津賀谷、旧大正町の海洋堂ホビー館（打井川）、旧西土佐村中組といった439号線沿いにフィールドを展開しています。現在のところ、主に学生教育のフィールドとして機能している面が強いので地域研究としてはまだまだなのですが、「よそ者」（学生）が地域づくりの活動に参加することによる効果に関しては社会科学として貴重なデータが集まりつつあります。農学部門の皆さんはすでに多くの研究実績を有しておられますので、ここでぜひ交流を促進して文理協働による中山間地域研究の可能性を探れたらと思います、以下の企画を立ててみました。

以下の要領（基本構想）で交流会を開催し、「中山間地域問題への総合的アプローチ」を探るスタートを切りたいと思いますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。

尚、本交流会は「第29回アカデミアセミナー in 高知大学」として開催いたしたいと存じます。

**テーマ：「中山間地域問題への総合的アプローチを探る」**

**日時：3月2日（金）13：00～16：00（終了予定）**

**場所：高知大学農学部 3-1-13 教室**

**共催：自然科学系農学部門（中山間地域プロジェクト）**

プログラム：

13：00～14：20 話題提供

報告1 **「嶺北地域活性化に向けた農学部の取組」**

市川昌広氏（自然科学系農学部門）

報告2 **「国道『439号線』沿い地域活性化に向けた地域協働教育学部門の取組」**

上田健作氏（総合科学系地域協働教育学部門）

14：20～14：30 休憩

14：30～16：00 ワークショップ

◆ コーディネータ 石筒 覚氏（総合科学系地域協働教育学部門）

◆ 課題

(1) 同一フィールドで研究活動を行う異なる学問分野はどのような共通テーマを持てるか。

(2) 設定可能な共通テーマについてどのような連携・協働が可能か。

(3) 可能な連携・協働して行う取組の意義は何か

・・・アカデミックな意義及び社会貢献的な意義。

(4) 連携・協働の可能性を現実に変化するにはどのような課題を解決する必要があるか。